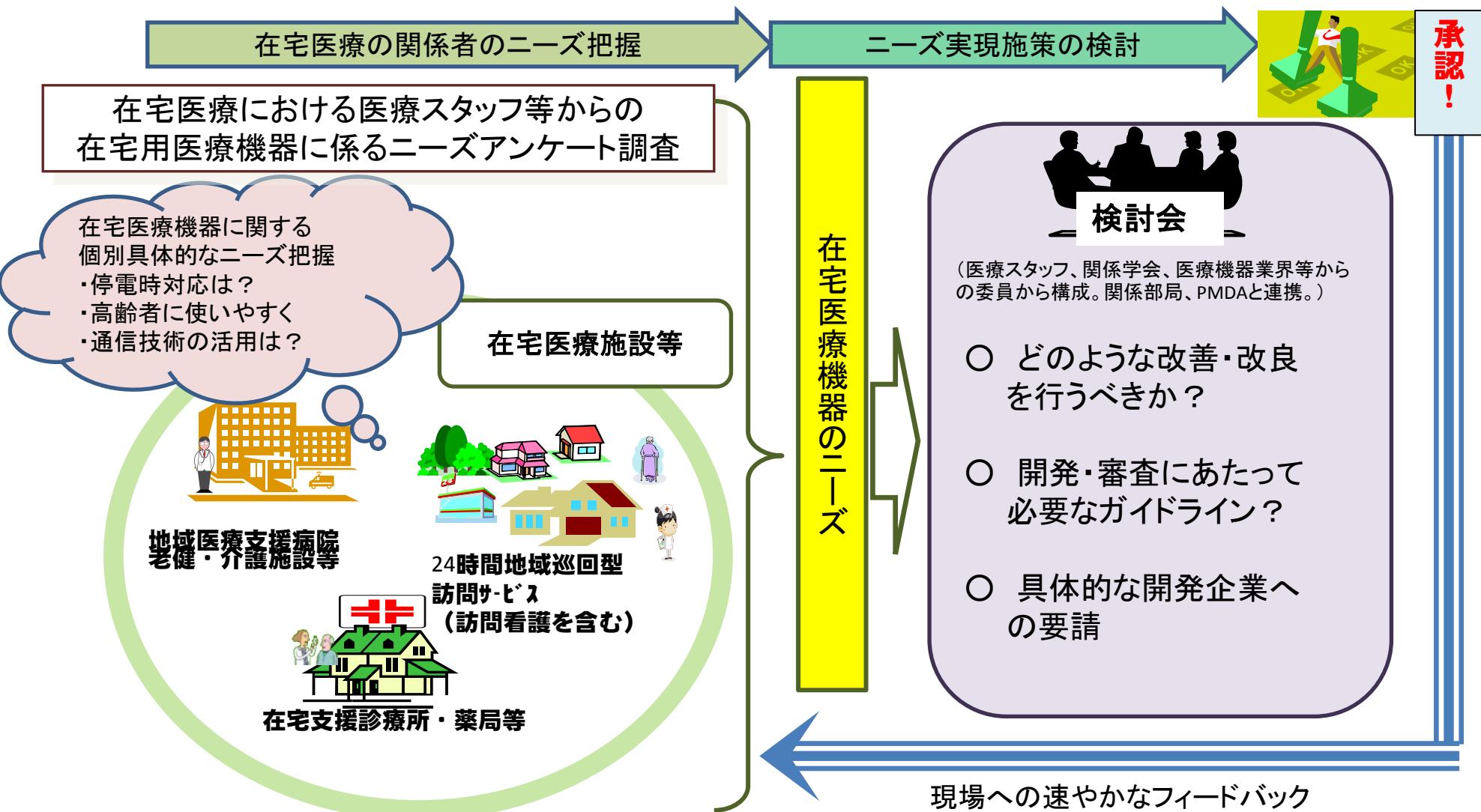


■ 在宅医療推進のための 医療機器承認促進事業

要望額 0.14億円

在宅医療の充実に必要なニーズを改良・改善した医療機器の承認により具現化



■在宅医療推進のための 看護業務の安全性等検証事業

要望額 0.9億円

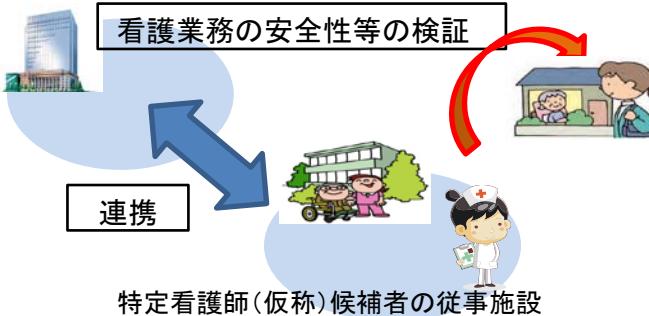
事業の目的

- 患者・家族が希望する在宅医療を実現するため、専門的な臨床実践能力を有する看護師*が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みの構築に向け、業務の安全性や効果の検証を行う。

* 厚生労働省はチーム医療を推進し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するため、これらの看護師(特定看護師(仮称))を認証することを検討。

内容

- 特定看護師(仮称)候補者の従事する施設(厚生労働省が指定)から業務の実施状況等に関する情報の報告を受け業務の安全性等を検証。



効果

- (例)
- ・患者の状態や症状の経過の十分な理解による、適時・適切な処置→患者の苦痛を軽減
 - ・患者・家族の希望する在宅医療が実現可能となり在宅医療の推進

業務のイメージ

終末期患者



日常的に実施するケア

- ◆合併症の早期発見
- ◆感染徵候の観察
- ◆栄養管理
- ◆排泄・疼痛コントロール
- ◆褥瘡予防ケア
- ◆患者や家族の心理的ケア

全身症状の把握・評価
・疼痛・苦痛症状の有無
や程度の観察 等

必要に応じた処置・治療の判断

苦痛の緩和

水分や栄養補給

医師の包括的指示の下、報告・連携し実施

緩和ケア計画作成・説明

多職種
と連携

【在宅療養環境の調整】

家族間の意向等の調整

【死因が想定可能な場合の対応】

死亡の確認

看取り後の処置

家族の悲しみに対するケア